2026年11月13日

各　　位

会社名　　株式会社エアトリ
代表者名　　代表取締役社長 兼 CFO　　柴田裕亮
（コード番号：6191　東証プライム）
問合せ先　　代表取締役社長 兼 CFO　　柴田裕亮
（TEL. 03-3431-6193）

連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2026年９月10日に公表しました 2026年９月期連結業績予想値と本日公表の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026年９月期 通期 連結業績予想値と実績値との差異（2025年10月１日～2026年９月30日）

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益（減損等控除前）	営業利益（減損等控除後）	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	１株当たり当期純利益（円 銭）
前回発表予想(A)	34,000	4,530	3,000	2,790	1,950	88.22
実績値(B)	37,813	5,052	2,616	2,425	1,263	56.97
増減額(B－A)	3,813	522	△384	△365	△687	－
増減率(%)	11.2	11.5	△12.8	△13.1	△35.2	－
（ご参考）前期実績（2025年９月期）	28,104	4,657	3,099	3,029	1,779	79.47

（差異の理由）

2026年9月期の業績については、エアトリ旅行事業においては、外部環境等の影響による成長鈍化があったものの、エアトリ旅行事業に続く各事業セグメント（インバウンド事業、IT開発事業、投資（エアトリCVC）事業、エアトリ経済圏その他事業の4つのセグメント）がそれぞれ好調・堅調に推移し、想定以上に順調に売上収益・利益の積み上げを継続いたしました。この結果、連結決算におけるグループ全体の売上収益及び営業利益（減損等控除前）は前回発表予想を上回り着地いたしました。

一方で、通期連結決算過程での減損損失等の計上が想定を上回る実績となり、営業利益（減損等控除後）以下の各段階利益は当初想定を下回り着地いたしました。減損損失等の具体的な内容としては、営業投資先の再評価や子会社事業に関する評価等によるものです。子会社事業については、

①直近でM&Aをした会社について、従前からの健全なバランスシートを目指す会計方針に従い、投資額の評価において、一部費用計上や前倒しでの減損処理を実施したものに加えて、②ハイブリッドテクノロジーズ（証券コード4260）にて、10月1日付で持株会社化したことに伴うグループ共通費の計上に伴う損失計上がありました。これは、グループ内の費用分配の見直しに伴うもので、これは将来の収益性の低下に起因するものではありません。

以上の結果として、当社が最重要の財務数値と位置付ける営業利益（減損等控除前）は、目標として掲げていた2028年9月期までの営業利益50億円を2期前倒しで達成いたしました。予定より早期の達成に伴い、2027年9月期以降は、今回公表した中長期成長戦略「エアトリ100」に基づき、営業利益（減損等控除前）100億円達成を目指してまいります。併せて、従前発表した株主還元方針に従い、2026年9月期から2028年9月期の3期間における配当性向100%（調整後税引後営業利益（減損等控除前）に対しての算出）、総額100億円超の配当を実施し、株主価値の最大化を目指します。

以上